平成 29 年度(2017)年 9 月 8 日発行

大学美術教育学会

No.35

編集•発行 総務局長 広 報 室

事務支局

大学美術教育学会広報室 理 事 長 小野康男 (横浜国立大学) 新野貴則(山梨大学)

> E-mail: daibibumon@uaesj.com (総務局専用) 〒602-8048 京都市上京区下立売通小川東入る西大路町

146番地 中西印刷株式会社 学会部内 TEL: 075-415-3661/FAX: 075-415-3662

E-mail: uaesj@nacos.com

大学美術教育学会理事長挨拶

大学美術教育学会理事長 小野 康男 (横浜国立大学)



大学美術教育学会の会員の皆さま。昨年度よ り学会の理事長を務めております小野康男で す。ニューズレターやウェブでのご挨拶が遅れ、 ご迷惑をおかけしています。所属は横浜国立大 学、専門は美術理論・美術史です。

部門と学会の関係に関しまして、前理事長の 増田先生より詳しく歴史的な経緯を記した文章 「日本教育大学協会全国美術部門と大学美術教 育学会のあゆみ」をいただき、ホームページに 掲載しておりますので、学会の会員の皆さまに はぜひとも一読お願いしたいと思います。

さて、「日本教育大学協会」の冠が付く部門と は異なり、学会には多様な会員の皆さまに参加 いただいています。増田先生の文章にあるよう に、学会は教育現場を軸として「美術教育及び 美術の研究」を行う場です。そこでは、図画工 作科・美術科教員の養成だけではなく、大学や 社会も含んだ多様な研究が「教育現場」を通し て互いに交通していくことが期待されていま す。

教育現場 (フィールド) における記述そして 研究は何にもまして貴重です。現在、エスノグ ラフィーなど、詳細で多様な記述を基にした方 法的な革新が、学問の様々な分野で進行してい ます。しかし、様々なフィールドが交通してい くには、フィールドから理論が生まれてくるこ と、そして過去や現在の諸理論と対話していく ことが必要です。

私が専門とする美術理論・美術史で興味深い 議論がありました。フランスの美術史家ダニエ ル・アラスに『モナリザの秘密』(白水社、2007 年)という本があります。原題は、Histoires de peintures で、『絵画の歴史』と訳せますが、絵 画も歴史もそれぞれ複数形となっています。そ の中でアラスは、同時代の概念・資料による理 解を基本とする歴史学にとっての難問であり、 時代の混交を意味するアナクロニスムに記述を 割いています。アラスは、歴史学を基本とする 美術史学においてアナクロニスムは避けるべき としながらも、フランスの哲学者ミシェル・フ ーコーが『言葉と物』(原著 1966年、邦訳 1974 年)において分析したベラスケスの《ラス・メ ニーナス(女官たち)》を取り上げ、彼がこの絵 を「民主化」したと言っています。フーコーの この分析は、その後の美術史学の研究に刺激を 与え、様々な理論的領域で膨大な文章を生み出 す端緒となりました。アラスは、フーコーが美 術史家としてではなく、「いわば芸術家として、 芸術家の哲学者」として反応したと言っていま す。美術のつながりをつくるのは美術史家では なく芸術家だということです。私には、教育現 場からの理論とは、この芸術家の哲学が作動す る場面を考えていくことではないかと思われて なりません。

大学美術教育学会 平成28年度役員・各種委員会委員一覧

■理事長 小野康男(横浜国立大学)

■副理事長

佐藤哲夫(新潟大学) 竹井 史(愛知教育大学) ※学会誌委員長兼任

■特別理事 増田金吾(元東京学芸大学)

■総務局

総務局長 新野貴則(山梨大学) 総務部長 佐藤賢司(大阪教育大学) 総務局理事

> 松尾大介(上越教育大学) 石上城行(埼玉大学) 西村德行(東京学芸大学) 新實広記(愛知東邦大学)

■大会運営委員

阿部宏行(北海道教育大学)三根和浪(広島大学)

■**監事** 白井嘉尚(静岡大学) 村松俊夫(山梨大学)

■地区全国理事

I 〔北海道〕

三橋純予(北海道教育大学岩見沢校) 名達英詔(北海道教育大学旭川校)

〔東 北〕

村上タカシ (宮城教育大学) 新井 浩 (福島大学)

Ⅱ〔関 東〕

村松俊夫(山梨大学) 栗田真司(山梨大学)

Ⅲ〔北陸〕

岡田匡史(信州大学) 柳沼宏寿(新潟大学)

〔東 海〕

富山祥瑞(愛知教育大学) 上山 浩(三重大学)

Ⅳ〔近 畿〕

高木栄一(和歌山大学) 江藤 亮(大阪教育大学)

[四 国]

山田芳明(鳴門教育大学) 古草敦史(香川大学) V〔中 国〕

一鍬田徹 (広島大学) 橋ケ谷佳正 (岡山大学)

[九 州]

喜久山悟(熊本大学) 吉田悦治(琉球大学)

■私立大学全国理事

大成哲雄(聖徳大学) 浅野卓司(桜花学園大学)

■学会誌委員会

委員長 竹井 史(愛知教育大学) 副委員長 佐藤賢司(大阪教育大学) ※総務局兼任

副委員長 山田芳明(鳴門教育大学)

委員 [H27-28 年度委員 5 名]

齋藤 学(山形大学) 西村徳行(東京学芸大学) 樋口一成(愛知教育大学) 矢野 真(京都女子大学) 渡邉美香(大阪教育大学)

委員 [H28-29 年度委員 6 名]

小野康男(横浜国立大学) 上山 輝(富山大学) 竹内晋平(奈良教育大学) 村田 透(滋賀大学) 齋江貴志(群馬大学) 高橋智子(静岡大学)

■国際交流委員会

委員長 鈴木幹雄 (神戸大学) 副委員長 煤孫康二 (岩手大学)

福田隆眞(山口大学)

委員 結城孝雄(東京家政大学)

池内滋朗(埼玉大学)

甲田小知代 (新潟市立潟東中学校)

大泉義一(横浜国立大学) 中村和世(広島大学) 石上城行(埼玉大学)

小笠原文 (広島文化学園大学)

協力委員 長田謙一(名古屋芸術大学)

竹内とも子(千代田区立九段小学校)

平成28年度 各種委員会活動報告①

■学会誌委員会

1. 平成28年度事業報告

『美術教育学』第49号結果について

投稿本数 83 件投稿(事前調査 107 件)。11 月 6 日大阪教育大学天王寺キャンパスにて第 2 回学 会誌委員会にて、掲載、不掲載、追加査読を決 定。追加査読に関しては学会誌委員による査読 を行い、条件付掲載、不掲載を決定。

結果は以下のとおり。

結果:掲載61本(内辞退1本)、(掲載率72%) 内訳:・掲載15本、条件付掲載46本、不掲載 22本(内2重投稿取り消し1件、自己剽窃1件、 著者既出論文と同内容であり、規程に抵触し査 読対象外1件)

2. 学会誌委員会開催日程

①学会誌委員会(1回幹事会)

平成28年6月16日 天王寺

学会誌運営打ち合わせ、査読者検討

②委員長中西印刷と打ち合わせ

平成28年6月20日 京都(中西印刷)

島田、楠林打ち合わせ後、副委員長、事務局と 連絡調整

③第1回学会誌委員会

平成28年9月23日 北海道教育大学札幌校学会誌委員顔合わせ、運営日程の確認

④学会誌委員会(2回幹事会)

平成 28 年 11 月 6 日 10:00~11:00

大阪教育大学天王寺キャンパス

⑤第2回学会誌委員会

平成 28 年 11 月 6 日 11:00~16:00

大阪教育大学天王寺キャンパス

⑥その他

委員長・副委員長協議、委員長中西印刷打ち合わせ等

3. 主な変更・修正点

「美術教育学研究」論文投稿、再査読論文作成 期間の延長

論文投稿締切日と大会発表申し込み締切日の 調整

4. 今後の検討事項

論文剽窃、二重投稿等の対策として、研究倫理 規定の追加

竹井 史(愛知教育大学)

■国際交流委員会

1. 概要

平成28年度の国際交流委員会はこの間、同年9月25日に、第1回委員会会議を開催し、活動方針を検討し編集方針をまとめた。また、『国際交流情報IRCN』第12号、第13号をホームページに公開し、同第14号7月末公開の布陣を張った(理事会回覧・承諾済み)。これら活動を通して、本学会員に内外美術・美術教育に関する国際交流情報を提供してきた。

2. 平成28年度体制・委員会開催

1)平成28年度役員体制:委員長・鈴木幹雄, 副委員長・福田隆眞(山口大、敬称略―以下同)、 煤孫康二(岩手大)、事務局・中村和世(広島 大)、甲田小知代(新潟市立潟東中学校)、小 笠原文(広島文化学園大)、結城孝雄(東京家 政大)とした。また現委員構成は、上記委員の 他、大泉義一(横浜国大、敬称略―以下同)、 石上城行(埼玉大・総務局派遣)、協力委員: 長田謙一(名古屋芸術大学)、竹内とも子先生 (千代田区立九段小学校)(以上、2016年4月 1日~2017年3月31日)

2)平成28年度国際交流委員会が9月25日に開かれ、委員会関連諸議題について審議された。主な審議事柄:①IRCN第12号、13号の標題トピック経過報告・意見交換、②IRCN第12号、13号のアップロード公開時期の検討、③IRCN第14号以降の標題トピックについて報告・意見交換、④IRCN第14号執筆者についての報告・検討、推薦依頼、⑤原稿締め切り、国際交流委員会委員からの執筆者、並びに執筆者推薦の検討、⑥韓国InSEA準備の方針についての理事長・理事会との意見交換と方針について。

平成28年度 各種委員会活動報告②

3)韓国 InSEA についての方針: InSEA 参加登録、発表登録情報を広報し、極力学会メンバーの意欲を涵養するよう努力する。キャンペーン的な活動方針は立てないが、自発的な動きが出てきた状況に応じて、対応等を個々に検討する。加えて、韓国 InSEA 準備にあたって必須かつ上品な広報の姿勢を貫く旨、確認した。

3. 『国際交流情報IRCN』の発行

- 1)『国際交流情報 IRCN』第12号の公開(アップロードと印刷媒体の配布):トピック:グローバル化が進む中で伝統的なことをどのように教えているか。公開時期:2016年3月25日(金)公開。執筆者・原稿:10名・10件(委員会外部者:9名、委員会委員:1名)。アップロード以外の配布方法:大会時配布:約160部、後日郵送:約120部(各会員大学へ送付)。
- 2)『国際交流情報 IRCN』第13号の公開(アップロードと印刷媒体の配布)、トピック:国際社会で取り組まれている美術・図工科教育(内容構成:トピック1:国際社会で取り組まれている美術・図工科教育。トピック2:2017年8月韓国テグ市開催のInSEA世界大会の登録・発表申し込み方法について)。公開時期:2016年9月25日(日)公開。執筆者・原稿:6名・6件(委員会メンバー外:2名、委員会委員:4名)。アップロード以外の配布方法:大会時配布:約160部、後日郵送:約120部(各会員大学へ送付)。
 - 3) 『国際交流情報 IRCN』のトピック一覧:
- ・<u>既公開 IRCN</u>:第 12 号(2016.3)、テーマ: 上掲/第 13 号(2016.9)、テーマ:上掲。

<u>準備中 IRCN</u>: 第 14 号(2019.7 末): 公開準備中: いまわが国で取り組まれている国際的な美術・図工科教育。

・公開予定 IRCN: 第 15 号(2017.9): INCEA 韓国大会(第 15 号、16 号は、INCEA 韓国大会を優先課題として、臨機応変に考える。) /第 16 号(2018.3): 魅力的な先生達の美術・図工科教育。

4)『IRCN 国際交流情報』14 号について:テーマ:上掲(内容構成:トピック1:実直に国際交流の可能性と接点を探る、トピック2:シンポジウムを通して国際交流の実りを探る)。

4. 今後の課題

国際交流委員会は、学会理事会からの要請を受け、『国際交流情報IRCN』の自前編集の工面、投稿原稿の減少等、厳しい状況の下で、国際交流委員会事業について現実的な可能性を模索してきた。多々課題も多いが、継続的な自前編集を前提としつつも、美術、図工・美術教育の啓蒙と足腰教科の為に何ができるか今後とも模索・挑戦していきたい。なお国際交流委員会は、冊子作りだけを自己目的化する姿勢をとらないが、同時に美術・美術教育への情熱・抱負の涵養に務める為にも、国際情報誌の位置を大切にする事が重要であると考えている。それ故、自前編集業務をこなす為には、書籍ザイン編集ソフトを用いた編集能力のあるスタッフの協力が必修となっている。

鈴木幹雄 (関西福祉大学)

平成28年度 第1回 拡大理事会報告①

大学美術教育学会 平成28年度 第1回 拡大総務局会報告 平成28年7月2日(土)

13:00~:18:00 アットビジネスセンター東京駅 304室

出席者:小野代表・理事長、新関副代表(正)、八 重樫副代表(副)、佐藤哲夫副理事長(正)、竹井 副理事長(副)・学会誌委員会長、芳賀特別委員、 増田特別理事、新野総務局総務局長、喜多村総務 局部門部長、佐藤賢司総務局総務部長、石上総務 局委員・理事、西村総務局委員・理事、新實総務 局委員・理事、阿部大会運営委員、佐藤昌彦学校 美術教育支援委員会委員長・大学造形教育連絡協 議会委員長、鈴木国際交流委員会委員長、一鍬田 地区全国理事

1. 挨拶

議事に先立ち、小野康男代表・理事長から挨拶が あり、引き続き、参加者の自己紹介があった。

2. 全国美術部門・大学美術教育学会の役員・各種委員会委員について

(1) 平成28年度 大学美術教育学会 役員· 各種委員会委員(案)

新野総務局長より配布資料をもとに説明があ り、承認された。未定のものは照会中であること が報告された。

(2) 平成29年度以降の役員総務局理事の選考9月の総会において正式決定される現行の役員および委員の改選手続きでは、年度当初の運営に不安定さを内包しているため、前年度に決定できるようにしたい旨の提案があり、準備作業に取りかかることが了承された。役員および委員の交代人数については、各部局および委員会の実情に鑑みることが付された。

3. 大学美術教育学会の会計・予算について

(1) 平成28年度 全国美術部門・大学美術教育学会の会計業務の現状と今後の方針

芳賀特別委員より、部門および学会の予算に関する資料をもとに過年度の決算状況について説明があり、会費滞納者が多いことと、厳しい現状が報告された。部門会員の増加が見込めないなかで運営を維持していくには、会費納入率を上げることと、未納会員を減らすことが急務であり、学会

会員の増加を図らなければならないことが確認さ れた。

学会誌委員会の参会に係る旅費は原則全額支給とし、予算規模に応じた組織編成を行うとともに業務内容の精査ならびに委員数の適正化を検討することとなった。総務局や運営会議等においては学会と部門について合わせて協議することから、その旅費と、部門と学会で共有しているホームページの管理費等については、会員数に応じて部門:学会=1:2を分担計上することが検討され、了承された。

(2) 学会費未納会員の取り扱い

2年間会費滞納がある会員に対して督促および 退会の意思を最後通告するとともに、退会届の様 式を作成してホームページに掲載することが提案 され、了承された。

4. 大学美術教育学会の事業について

(1) 平成27年度 学会事業報告

平成27年度の部門および学会の事業について、新野総務局長より資料をもとに報告された。

(2) 平成28年度 部門及び学会の事業計画 (案)(運営委員会および拡大総務局の開催、会報 の発行等について)

年6回開催している部門および学会の運営に係る諸会議について、新野総務局長より資料をもとに説明がなされると共に、厳しい予算状況を受け、経費削減と事業の簡素化を推進するため、諸会議の形態について見直すことが提案され、了承された。

新野総務局長および芳賀特別委員より、年2回 発行している会報の現状について説明が行われ、 年1回発行の方向で検討することが提案され、了 承された。

(4) 部門入会に伴う学会入会の勧誘

新野総務局長より、新任教員に送付している部 門入会案内に、学会概要を同送して、入会を促す ことが提案され、了承された。

5. 総務局の今後の運営について

(1)総務局の業務・役割分担

新野総務局長より、資料をもとに総務局の分掌 および各種委員会委員長の業務について説明があ り、確認された。

(2)業務マニュアルの作成

新野総務局長より、総務局員に従事した業務の

平成28年度 第1回 拡大理事会報告②

マニュアルを作成するよう依頼があった。

6. 北海道大会(平成28年度部門協議会・第5 5回大学美術教育学会)について

(1) 準備状況と運営の課題

佐藤昌彦先生(北海道大学教育大学)より、大会開催期間中は校舎改築工事を中止する旨、また学生会議について別室を設けることが報告された。阿部大会運営委員より、資料をもとに準備状況が報告された。また、学生議が口頭発表と重なっているので、次期大会から時間の調整を願いたい旨の発言があった。

(2) 部門協議会の企画

新野総務局長より、部門協議会テーマ「これらからの造形美術教育を担う教員養成にかかわる大学の役割」(案)並びにパネリスト4名(阿部宏行【北海道教育大学】、小野康男【横浜国立大学】、新関伸也【滋賀大学】、三澤一実【武蔵野美術大学】)、コーディネーター1名(喜多村徹雄【群馬大学】)が提案され、了承された。詳細および進行についてはパネリスト並びにコーディネーターで検討することとし、了承された。

7. 平成28年度 学会誌の編集について

竹井学会誌委員長より、資料をもとに次の5点 について変更および修正案が示され、了承された。

- ① 論文投稿の日程等の変更
- ② 論文投稿締切日と大会発表申し込み締切日 の一致
- ③ 論文査読期間、掲載可論文の修正期間の延長
- ④ 論文剽窃、二重投稿等の対策として、研究 倫理規定の一部追加
- ⑤ 学会誌投稿規程細目の一部変更

8. 各種委員会の事業計画について

(1) 学校美術教育支援委員会(部門)

佐藤昌彦委員長より、附属学校の美術教育の姿勢を広報することを前委員長と検討し計画することが報告された。

(2) 大学造形教育連絡協議会(部門)

佐藤昌彦委員長より、新野総務局長と協議しな がら検討していくことが報告された。 また、西村委員(総務局委員・理事)より、中学 校教員配置の調査状況について報告があった。

(3) 学会誌委員会(学会)

竹井委員長より、資料をもとに現状および今後 の計画案が報告された。

(4) 国際交流委員会(学会)

鈴木委員長より資料をもとに詳細な報告が行われた。

9. 外部諸団体との連携等について

(1)美術教育連絡協議会(8団体)(報告)

小野代表・理事長より、文部科学省に提出する、 三つの力を柱にした美術教育の学力に関する提言 を取りまとめる協議会が、小野理事長を座長に3 学会および他団体並びに前教科調査官2名によっ て進行していることが報告された。

(2) 造形芸術教育協議会(3学会)

芳賀特別委員より、大学美術教育学会から美術 科教育学会静岡大会における3学会連携行事で発 表する研究者の推薦依頼があり、後日検討のうえ 推薦することが了承された。

(3) 教育関連学会連絡協議会に対する今後の方針

新野総務局長より、資料をもとに外部諸団体と の連携協力状況について説明があり、協議の結果、 今年度をもって教育関連学会連絡協議会から脱会 することが議決された。

10. その他

(1) 各地区会規定の改正について(報告)

新野総務局長より、資料をもとに地区会規程改 正の回答状況が報告された。

また、大学美術教育学会の「会員の会費に関する 細則」の一部に修正漏れがあったため、協議の結 果、修正漏れを正すことが決議された。

(2)全国美術部門の新規会員の入会状況(報告) 新野総務局長より、7月2日現在の部門入退会 状況について、4地区から報告があり、新規入会 者4名/退会者8名であり、残り4地区からの回 答を待っていることが報告された。

11. 閉会

佐藤哲夫副理事長より、閉会の辞がなされた。 喜多村徹雄(群馬大学)

大学美術教育学会 平成 27年度決算

口収入 (円)

	費目	平成 27 年度予算	平成 27 度決算	備考
	前年度繰越金	147,218	147,218	
年会費	会費納入 (収入)	5,600,000	4,568,000	会費納入:8000 円×571 名
			684,000	過年度会費納入:90名
	会費未納	-	(1,464,000)	会費未納:183名
掲載負担金	学会誌掲載負担金	1,500,000	1,590,000	53件×30,000
その他	雑収入	0	0	
	合 計	7,247,218	6,989,218	

※平成27年度 大学美術教育学会の会員数754名

■支出 (円)

				(1.47)
	費目	平成 27 年度予算	平成 27 年度決算	備考
補助金	研究大会補助金	50,000	50,000	
印刷製本費	学会誌刊行費(発送費込み)	2,000,000	2,065,845	
	会報刊行費(発送費込み)	400,000	400,530	
	会員名簿刊行費	300,000	14,040	
	その他の印刷費	100,000	228,657	横浜大会案内等
運営費	運営委員会費	600,000	655,487	
	学会誌委員会費	200,000	183,042	
	国際交流委員会費	100,000	28,370	
	拡大理事会費	200,000	53,284	
	会議費	100,000	292,190	
事務経費	郵送費	100,000	103,914	
	事務費	100,000	124,884	
	維費	100,000	170,841	
委託費	事務支局業務委託費	1,300,000	1,296,000	
	学会誌編集委託費	650,000	612,900	
	大会受付業務委託費	320,000	284,580	
	HP 管理費	60,000	60,000	
負担金	教育関連学会連絡協議会	10,000	10,000	年会費
予備費	予備費	557,218	354,654	
	合 計	7,247,218	6,989,218	

大学美術教育学会 平成 28 年度予算

□収入 (円)

	費目	平成 28 年度予算案	備考
年会費	会費納入(収入)	5, 600, 000	8,000 円×700 名
掲載負担金	学会誌掲載負担金	1, 500, 000	
その他	前年度繰越金	147, 218	
	合 計	7, 247, 218	

■支出 (円)

<u> </u>			(11)
	費目	平成28年度予算案	備考
補助金	研究大会補助金	300,000	大会案内等含む
印刷製本費	学会誌刊行費(発送費込み)	2, 000, 000	
	会報刊行費(発送費込み)	200, 000	
	会員名簿刊行費		
運営費	運営委員会費	800, 000	
	学会誌委員会費	400, 000	
	国際交流委員会費	100, 000	
	拡大理事会費	300, 000	
	造形芸術教育協議会	100, 000	
	会議費	100, 000	
事務経費	通信	100, 000	
	郵送費	100, 000	
	事務費	100, 000	
	支払手数料	10,000	
	雑費	100, 000	
委託費	事務支局業務委託費	1, 300, 000	
	学会誌編集委託費	600, 000	
	大会受付業務委託費	300, 000	
	HP 管理費	60,000	
負担金	教育関連学会連絡協議会	10,000	
予備費	予備費	267, 218	
	合 計	7, 247, 218	

平成27年度 事業報告

平成28年度 事業計画

6月上旬	「学会会報・第32号/横浜大会案内」	5月上旬	「学会会報・第 34 号/北海道大会一
	発行・郵送「横浜大会案内(第1次)」		次案内」発行・郵送
	研究発表 (口頭)・投稿論文登録の「申		研究発表 (口頭)・ポスター発表の「申
	込案内」		込案内」
6月21日(日)	第1回運営委員会(東京/TKPスター	7月上旬	「北海道大会二次案内/学会誌投稿案
	貸会議室 新橋)		内」発行・郵送
8月18日 (火)	大学美術教育学会「横浜大会」研究	7月2日(土)	第 1 回拡大総務局会議(東京/ABC 貸
	発表 (口頭) の「申込」、「概要集原稿」		会議室)
	提出締切ポスター発表・ポスター展示	8月9日 (火)	大学美術教育学会「北海道大会」研究
	の「申込」/「概要集原稿」提出締切		発表(口頭) 申込締切・ポスター発表
8月24日(月)	学会誌・事前投稿登録締切		申込締切
9月1日(火)	横浜大会参加申込締切	8月9日 (火)	学会誌・事前投稿登録締切
9月上旬	「横浜大会案内(最終)」	8月31日(水)	会費の振込締切
	平成 26 年度会計監査	9月1日 (木)	横浜大会参加申込締切
	(大嶋監事・岩村監事)	9月上旬	「横浜大会案内(最終)」
9月11日(金)	第2回 運営委員会 (東京/TKP スタ		平成 27 年度会計監査
	一貸会議室 新橋)		(白井監事・村松監事)
	「投稿論文」締切(必着)、学会誌編	9月上旬(未定)	第1回運営委員会(メール会議)
	集作業開始	9月12日(月)	「投稿論文」締切(消印有効)、学会
9月19日(土)	大会前日諸会議:拡大総務局会、第1		誌編集作業開始
	回拡大理事会、各種委員会(第1回学	9月23日(土)	大会前日諸会議:第2回拡大総務局
	会誌委員会・国際交流委員会)		会、第1回大学美術教育学会拡大理事
9月20日(日)	第54回大学美術教育学会「横浜大会」		会、各種委員会
9月21日(月)	部門・学会合同開催式(横浜国立大	9月24日(土)	第 55 回大学美術教育学会「北海道大
	学)、部門協議会、総会、部門・学会	~9月25日(日)	会」: 部門・学会合同開催式(北海道
	合同懇親会、シンポジウム、ポスター		教育大学)、総会、部門・学会合同懇
	発表・ポスター展示、研究発表(口頭)、		親会、シンポジウム、ポスター発表、
	閉会式、大会開催大学引継ぎ(次期開		研究発表(口頭)、閉会式、大会開催
	催大学-北海道教育大学)		大学引継ぎ(次期開催大学-広島大学)
10月25日(日)	第2回学会誌委員会	10月下旬	第2回学会誌委員会(場所 未定)
10月下旬	「学会会報・第33号」発行・郵送	11月25日(金)ま	投稿論文の掲載可否の決定(投稿論文
12月9日(水)	投稿論文最終提出締切(必着)	で	の最終提出は可否決定後4週間以内)
(平成 28 年)	第 3 回運営委員会(アットビジネス	(平成 29 年)	
1月24日(日)	第3回連宮安貝会(アットピン不入 センター東京駅)	(平成 29 年) 1月下旬	第2回運営委員会
1月29日(金)	投稿論文掲載者による掲載負担金納	1月11月11日(火)	弟 2 凹連宮安貝云 投稿論文掲載者による掲載負担金納
1月29日(並)	入(厳守)	1月31日(火)	大 (厳守)
3月上旬	拡大総務局会、第 2 回拡大理事会、	3月上旬(未定)	第2回拡大理事会 (メール会議)
	各種委員会(第3回学会誌委員会・国	3月末日	「学会誌・第 49 号」発行・郵送
	際交流委員会)(場所 未定)		「学会会報・第 35 号」(次期大会予
	次年度 組織・運営に関する執行		告)」発行・郵送
	部・各役員の引き継ぎ(アットビジネ		
	スセンター東京駅)		
3月末日	「学会誌・第 48 号」発行・郵送		
	「学会会報・第34号」(次期大会予告)」		
	発行・郵送		

第55回大学美術教育学会 北海道大会報告①

1 大会前日の諸会議

大会前日の平成28年9月23日(金)には各委員会、役員会【北海道教育大学札幌駅前サテライト】が開催された。



拡大理事会及び美術部門協議役員会の様子

2 大会当日の研究発表及びシンポジウム等

2016年9月24日(土)·25日(日) 北海道大会
平成28年度 日本教育大学協会
全国美術部門協議会
第55回 大学美術教育学会

北海道大会テーマ

「美術と教育における地域の多様性」
(同テーマでシンポジウムを開催します)

主 催:日本教育大学協会全国美術部門 大学美術教育学会

共 催:北海道教育大学 会場校:北海道教育大学札幌校

平成28年9月24日(土)・25日(日)には、札幌市の北に位置する北海道教育大学札幌校において、「美術と教育における地域の多様性」を北海道大会テーマとして、口頭研究発表が64本・ポスター発表が8本あり、全国各地から集った参加者は、両日合わせて213名を数えた。

■開会・総会等

24 日(土)

①平成 28 年度 日本教育大学協会全国美術部門 協議会の開会式・協議会

<協議会>

「これからの造形美術教育を担う教員養成にかかわる大学の役割」

②平成28年度 第55回大学美術教育学会北海道 大会の開会式

25 日(日)

- ③平成28年度 日本教育大学協会全国美術部門 協議会の総会
- ④平成28年度 第55回大学美術教育学会北海道 大会の総会

■口頭発表

口頭による研究発表が、7つの会場で行われ、会場では、研究実践を基にした発表や教員養成の在り方に関する発表、美術教育の歴史を紐解く発表など、専門性に富んだ研究の成果が発表された。研究内容などに対して、参会者から質問や意見が寄せられるなど熱心な論議が、どの会場でも交わされた。



口頭による研究発表の様子

■シンポジウム

第一日の平成28年9月24日(土)午後3時20分から、南部正人(北海道教育大学旭川校)、三橋純予(北海道教育大学岩見沢校)、岩崎愛彦(北広島市立大曲小学校)の3名の登壇者と司会の佐々木宰(北海道教育大学釧路校)によって、大会と同テーマ「美術と教育における地域の多様性」について、シンポジウムが行われた。経済効率優先の論理の基に進む現代社会の中で、地域文化の担い手や教育機会の縮小傾向など、諸問題を引き起こしていることの提起があり、その後、盛んな論議が行われた。

第55回大学美術教育学会 北海道大会報告②



シンポジウムの登壇者と司会者



シンポジウム会場の様子

登壇者からは、地域の現状とともに、「地域の多様性」を生かした、北海道の事例の紹介があった。どの地域においても共通の課題との認識や、それぞれの地域での取り組みなども含めて、会場から多くの意見が寄せられた。

■ポスター発表



学生ホールに展示された研究パネルの回りには多くの参会者が集まり、ポスター発表者の説明に聞き入っていた。また、会場が情報交換の場ともなり、交流が続いていた。

■懇親会 【サッポロビール園】

サッポロビール園で行われた懇親会には 127 名が 参加し、成吉思汗に舌鼓を打ちながら、有意義な時間を過ごした。



3 北海道大会を終えて

全国各地から多くの会員の参会をいただいたことを はじめとして、本部事務局、中西印刷など、関係各位 のご尽力に感謝申し上げます。大会運営に携わった 北海道教育大学の実行委員の皆様、受付業務など の大学院生にも深謝しております。

阿部宏行 (北海道教育大学岩見沢校)

平成29年度 日本教育大学協会全国美術部門協議会 第56回 大学美術教育学会「広島大会」(ご案内)

大会テーマ

これからの美術教育で育成すべき資質・能力を考える

◇内容

研究発表、ポスター発表、座談会、総会、諸会 議、懇親会等

◇日時

平成 29 年 9 月 23 日 (土) 受付開始予定 9:00 9月 24 日 (日) 受付開始予定 9:00 ※役員会・各種委員会

9月22日(金) 受付開始予定12:30



◇会場

広島大学東広島キャンパス 教育学研究科

〒759-8524 広島県東広島市鏡山 1-1-1 *広島市内から電車、バス等利用で 1 時間ほどかかります。

◇申込方法

e-naf+(オンライン大会登録受付システム)に よる参加申込みは終了しています。 大会参加は当日受付も可能です。

◇参加費

会員・一般 5000円(当日) 院生・学生 3000円(当日) ※院生には現職教員も含む。

◇懇親会費

会員・一般 6000円 (当日) 院生・学生 4000円 (当日)

※院生には現職教員も含む。

会 場:広島大学西2食堂ホール

【注意事項】

- ・宿泊の斡旋は行いません。広島は観光シーズンでもあり、混雑が予想されます。参加者ご自身で、早めの確保をお願いします。
- ・大学の休業期間中でもあり、昼食をとるところが少なくなります。事前にご用意しておく ことをお勧めします。

【問合せ】

大学美術教育学会広島大会準備委員会 運営委員 三根和浪(広島大学教育学研究科) kmine@hiroshima-u.ac.jp

[会場へのアクセス]

JR 山陽線、JR 新幹線、高速バス、山陽自動車 道等を利用できます。

下記 URL でご確認下さい。

https://www.hiroshima-u.ac.jp/access/higas hihiroshima



お問い合わせ先について

日本教育大学協会全国美術部門並びに大学美術教育学会において、平成20年度以降、一大学の事務局運営から全国各地の大学教員による総務局体制で運営を変更しました。平成26年度には、業務の一部をアウトソーシング(中西印刷株式会社に業務委託)し、効率的で持続可能な運営を目指しています。

つきましては、会員管理・会費に関するお問い合わせは、大学美術教育学会事務支局(中西印刷株式会社内)へ、その他については、総務局へお問い合わせください。

<会員管理・会費関連に関するお問い合せ> 大学美術教育学会事務支局 (中西印刷株式会社内)

Tel: 075-415-3661 E-mail: uaesj@nacos.com

<総務局へのお問い合わせ> 総務局専用メールアドレス

E-mail: daibibumon@uaesj.com

*大学美術教育学会並びに全国美術部門の活動について、主に総務局長がこのメールへの問い合わせに対応いたします。

年会費の支払いに関するお願い

大学美術学会は、皆様の年会費により運営されて います。年会費の支払いにご協力くださいますよう お願い致します。

滞納されている方は、早めに納入頂けますようご 協力をお願いいたします。

なお、3年以上滞納している方は、「会員の会費 に関する細則」の第7条に基づき、会員資格が停止 されます。ご注意ください。

また、払込取扱票の再発行はいたしかねますので、未納額がご不明な場合には事務支局へお問い合わせ願います。また、領収証は払込の控えをもって代替いたしますので、ご了承ください。

■振込先

口座番号:00980-6-203000 加入者名:大学美術教育学会

※大会参加費の送金先とは異なります。ご注意く ださい。

■会費に関するお問い合わせ先

会員管理・会費関連に関するお問い合せ: 大学美術教育学会事務支局 (中西印刷株式会社内)

Tel: 075-415-3661 E-mail: uaesj@nacos.com

【総務局広報室】

新野貴則 (山梨大学) 石上城行 (埼玉大学) 佐藤賢司 (大阪教育大学) 喜多村徹雄(群馬大学)

